

令和元年度北方四島交流受入事業（一般：兵庫県）実施結果概要

10月3日から10月8日の日程で北方四島在住ロシア人等54名を兵庫県で受け入れました。

兵庫県内のプログラムでは、荒木兵庫県副知事を表敬訪問、県内の歴史や文化を学習するため、姫路城、高田屋嘉兵衛顕彰館、弓弦羽神社を見学しました。高田屋顕彰館では、高田屋嘉兵衛翁生誕250周年に際し、日ロ友好を祈念して、地元有志とともに記念植樹を行いました。

日本の優れた防災対策や工業技術、県内の地場産業を紹介するため、兵庫県災害対策センターやカワサキワールドの見学、お線香工場の見学及び制作体験を実施し、理解を深めました。

交流プログラムについては、神戸市立唐櫃中学校、神戸学院大学のご協力により、中学校では書道体験を通じた交流等、大学では意見交換等を行いました。

また、地元兵庫県の方々にご協力いただき、ホームビジット、住民交流会、夕食交流会を実施しました。ホームビジットでは、実際に各家庭に訪問し、食事を取りながら交流を深めるとともに、住民交流会では、特産品を交えた地元の紹介を行うとともに、打ち解けた雰囲気の中で、北方四島在住ロシア人と兵庫県内参加者等が持ち寄った「大切な思い出の写真」を話題に意見交換を実施しました。

夕食交流会では、地元出席者等との歓談を行うとともに、兵庫県の伝統芸能である「デカンショ節」の披露を行い、日本文化に触れました。

受入事業での様々な体験・視察プログラムにより、北方四島在住ロシア人が兵庫県の歴史、文化について学習し、また、交流プログラムにより、数多くの出会いや交流が生まれ、友好を深めることができました。



根室港上陸



兵庫県副知事表敬訪問



姫路城



記念植樹（高田屋顕彰館）



弓弦羽神社



兵庫県災害対策センター



カワサキワールド



線香作り体験



学校訪問（神戸学院大学）



学校訪問（神戸市立唐櫃中学校）



住民交流会



夕食交流会